

1. 新東名開通後の市内の企業活動の変化

- ・新東名を利用することで、目的地までの所要時間が大幅に短くなりました。市内の企業・事業所では、様々な効果を実感しています。

■ 自社便で2往復が可能となり、輸送コストが約25%削減

- ・厚木に緩衝材を輸送している清水工業団地のA社は、新東名利用により所要時間が往復1時間削減したため、自社便での2往復が可能となりました。開通前に業者へ委託し輸送（1往復）していたころより、コストが約25%削減しました。



出典：企業ヒアリング

■ 往復時間が短縮「急ぎの仕事」に対応可能に

- ・清水工業団地のB社は、新東名利用により秦野まで所要時間が往復1時間削減したため、その時間を生産時間に活用でき、急な追加依頼にも対応が可能になりました。



出典：企業ヒアリング

■精密機器や生鮮品の輸送中の損傷リスクが大幅削減

- ・清水工業団地から沼津に精密機械を輸送しているC社は、高速ICが近くなり、荷痛みの危険性が大幅に減少しました。

【開通後】 新東名
清水工業団地⇒新清水IC: 0.5km



- ・静岡市中央卸売市場へ生鮮品を卸しているD社は、新静岡ICから交差点が1カ所のため荷痛みがほぼゼロになりました。



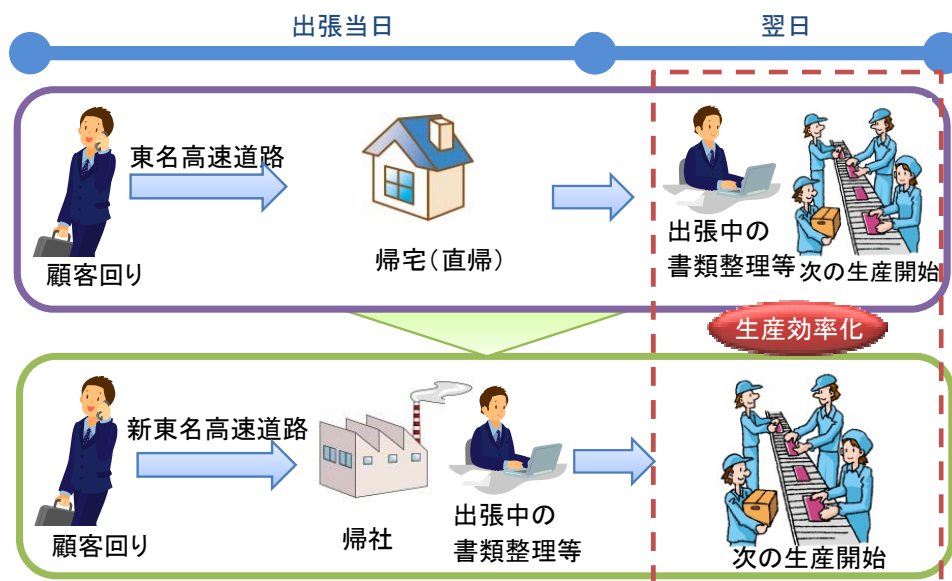
賤機山より静岡市街地方面を望む



出典：企業ヒアリング

■帰社時間が早まり、翌日の生産効率が向上

- ・E社の営業担当は、所要時間短縮により顧客回りから当日帰社が可能となり、事務手続きを、その日中に行え翌日からの生産効率が向上しました。



出典：企業ヒアリング

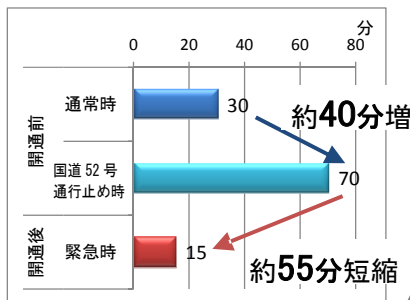
2. 新東名 清水連絡路開通による企業活動の変化

- 新東名 清水連絡路の開通により、南北方向の企業活動においても効果を発現しています。

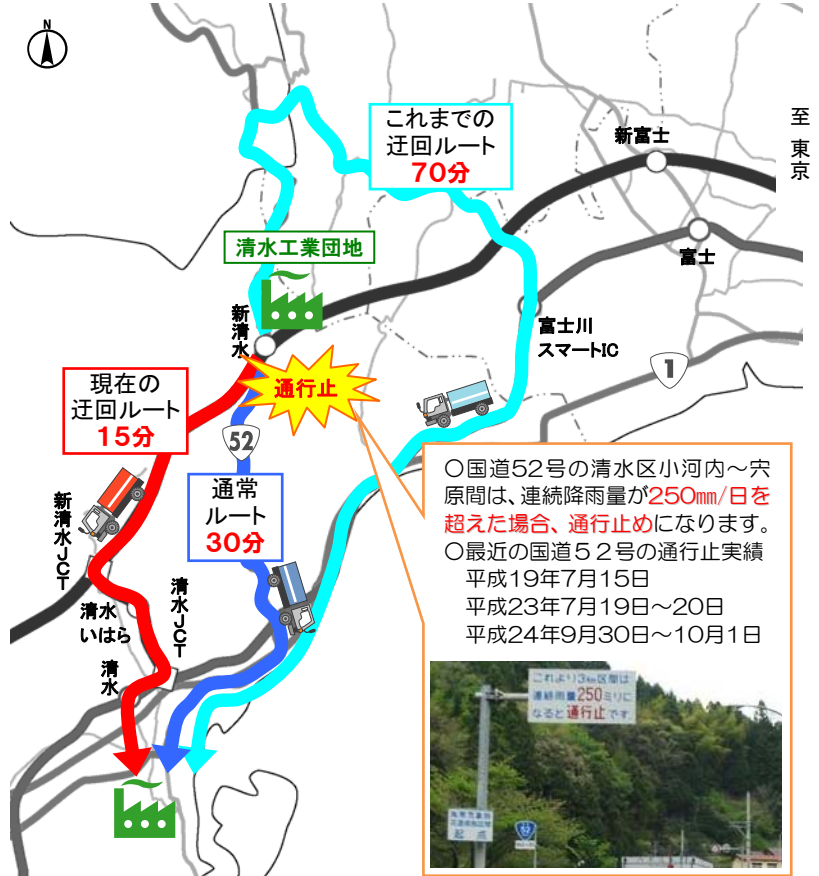
■国道52号の通行止め時に迂回利用（輸送の確実性）

国道52号が止まると、富士宮方面から迂回していました。

新東名開通後は、通行止め時も普段通り出荷できています。

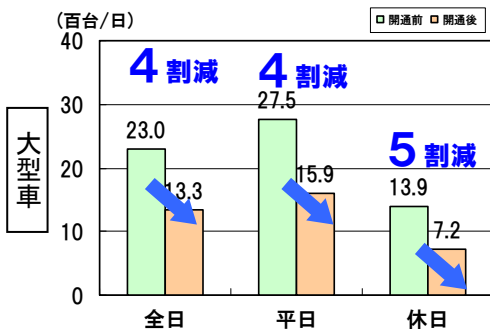


出典：企業ヒアリング



■国道52号の交通状況の改善

国道52号大型車交通量



出典：国土交通省交通量計測データ
開通前：平成23年11月1日（火）～11月30日（水）
開通後：平成24年11月1日（木）～11月30日（金）



清水方面の配送は、以前は、国道52号が混雑するため、10～20分の余裕を見ていましたが、今はその必要はなくなり、効率的に輸送できるようになりました。



出典：企業ヒアリング